

週刊(毎週月曜日発行)購読料・1カ年49,500円、6カ月27,000円(税・送料とも)昭和55年9月26日第三種郵便物認可/発行所・株式会社 鋼構造出版/発行人・田中貴士 編集人・大熊稔/本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) F A X 03(5642)7077 /大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) F A X 06(6536)7603 /札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 F A X 011(873)3636 /振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873 /郵便振替口座 東京00130-9-13713

おもな記事

- 前年同期比1・4%減の約270万ト/18年度上期需要 (2面)
- S造は22県で増加/9月の都道府県別着工統計…… (5面)
- 初の意見交換会を開催/鉄建協と日本躯体連合会…… (6面)
- 臨時総会で一社移行を決定/AW検定協議会東日本…… (7面)
- 「平成30年度技術講習会」を開催/スタッド協会…… (8面)

- 宇佐市と避難協定を締結/清松総合鐵工(大分)…… (10面)
- 「創業100周年記念パーティー」を挙行/小池酸素工業 (12面)
- 特集/千葉県鉄骨工業会創立40周年…… (13~17面)
- 関東版…… (18面)
- 近畿版…… (19面)
- 「第3回ZSKセミナー」/全国厚板シャ工組・技術委 (21面)

32ページ



建設中の大型プロジェクト(写真と本文は関係ありません)

材料の手配難、収束気配見えず ファブの生産計画に大きな影響

「短納期物件を断る」ケースも

今春以降、建築鉄骨向け鋼材および副資材の手配難が業界内の課題として大きくクロージングアップ、その混乱の収束の気配がみえない状況が継続している。とくにハイテンションボルトの品不足は深刻で「手配が難しく、納期に間に合わない」「短工期物件は断わっている」のファブの声も散見、一方で「ゼネコンから状況説明を求められるケースが多い」と訴えるファブも少なくない。また、コラムについてもタイト感が継続、今後大型再開発に伴う部材の大

型化や堅調な物流倉庫の需要展開、一部高炉メーカーの操業トラブルなどから「状況改善は難しく、供給不足は当面続く」(関係者)とされる。鉄骨ファブ各社は先行発注などで何とか対応しているものの、「ボルト一本でも材料が手に入らなければ仕事にならない。工程ずれがさらに深刻さを増すなかで、生産計画さえ立てられない」と憤る意見も多い。水面下ではあるが、ここに至り海外のファブの積極起用やボルト調達の見直しも取り沙汰されている。

「来年、一時的に大型案件の工事が切り替わる時期があり、稼働率が下がる端境期を迎える。そこで混乱が収束の方向に向かうのではないかと沈黙を期待する意見もある。ただ、工程のずれのほか、業界全体の人手不足や働き方改革、厳格な品質要求など取り巻く環境は、極めて厳しいものがあるだけに当面、不透明感を払しょくできない状況が続くものとみられる。



「東北・みやぎ復興マラソン」 渡宏鉄工開発(宮城) 鈴木社長ら3人が完走

宮城県のMグレードファブ、渡宏鉄工開発(本社・名取市)では10月13、14の両日に同県で開催された「東北・みやぎ復興マラソン2018」(主催「仙台放送」)に鈴木貴紀社長、設計部の日下利哉部長、同部の庄子美紀氏が参加し、無事完走した。3氏は昨年10月の第1回大会にも出場し、今回は2回目の出場となった。

同大会は4種目あり、3氏が出場したのは42・195kmのフルマラソン。コースは岩沼市・亘理町・名取市の臨海地域で、東日本大震災の津波被害からの復興地域に設定された。同時開催イベントとして飲食ブースなどの出展もあった。

写真1 完走した(右から)日下部長、鈴木社長、庄子氏

清松総合鐵工(大分) 宇佐市と避難協定を締結 新社屋屋上を避難用に施工

大分県の日グレードファブ、清松総合鐵工(宇佐市大字尾永井470-1、清松芳夫社長)は1日、宇佐市と「津波時における一時避難所としての使用に関する協定」を締結、宇佐市役所の会議室で是永修治・宇佐市長と協定書に調印した。発生時の危険性が高まる南海トラフ地震に備えて、地震発生時に同社屋上を避難場所として提供するもの。

清松総合鐵工は昨年、創立50周年を迎えて新社屋を建設した際、屋上を津波避難用のスペースとして施工した。約600平方メートルの屋上は一時避難所として300人の収容が可能。建設当時から避難施設として開放する旨の看板を設置していたが、同県の防災アクションデーに合わせてこのほど避難施設として調印の運びとなった。



左から清松容子専務、是永市長、清松社長

2液形変性エポキシ樹脂塗料 変性エポスプレー-NEXT

現場での簡易補修に最適
2液形変性エポキシ樹脂塗料の新しいカタチ

防食性・密着性に優れた2液形変性エポキシ樹脂塗料のエアゾールスプレー化を実現。防錆性能と作業性を兼ね備えた次世代型のエアゾールスプレー。

使用方法 5step

- ①音が鳴るまで振る
- ②ピンを垂直に押し込む
- ③逆さにして10分放置
- ④前後左右によく振る
- ⑤施工

※使用時間がありますので必ず塗装直前に行ってください。混合後はなるべく24時間以内に使い切ってください。

NETIS登録製品
登録番号 KT-120090-A